



2026 令和8年
No.704

広報 金武

金城町長 所信表明



令和8年第3回金武町議会定例会の冒頭、金城町長が所信表明を行いました。以下、所信表明の全文を掲載します。

本日、令和8年第3回金武町議会6月定例会の開会にあたり、私の今後4年間の町政運営に対する所信を申し上げ、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

去る4月5日に執行された町長選挙において、町民の皆様への負託をいただき、この

たび第13代金武町長として町政を担うこととなりました。本日、町民の皆様並びに議員各位の前に立ち、私に寄せられた期待と責任を痛感しているとともに、身の引き締まる思いであります。

私はこれまで約30年にわたり、金武町役場職員として、また副町長として行政運営に携わってまいりました。

企画行政、まちづくり、インフラ整備など、それぞれの現場で培った経験を活かし、金武町のさらなる発展に努めてまいります。

町政運営の基本方針

私は、第6次金武町総合計画で示されている

「つながる輪 夢を支える 金武のまち」を将来像に、「笑顔あふれる町づくり」を推進してまいります。

現在、全国的に人口減少や少子高齢化が進行する中、物価高騰への対応、防災・減災対策、地域経済の活性化など、地方自治体を取り巻く課題はますます多様化しております。また、社会のデジタル化やライフスタイルの変化に伴い、行政サービスはより迅速かつ柔軟な対応が求められております。

町民一人ひとりの声に耳を傾け、地域のつながりを大切にしながら、誰もが金武町に住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいります。

(1)子育て支援・福祉・健康づくりについて

子育て支援の推進につきましては、妊産婦支援、就学前児童への保育提供体制の確保及び保育・幼児教育の質の充実、就学児童の放課後支援の確保を実施するとともに、不妊治療費助成、子育て激励金、各保育料の減免、こども医療費助成事業などの子育て世帯への経済的支援を引き続き実施してまいります。



子育て支援の充実と強化につきましては、新たに乳幼児の検査等に伴う費用助成、育児支援としての親子関係形成事業を実施するとともに子育て支援の拠点となる「こども家庭センター」について令和9年度の設置に向けて取り組んでまいります。

「づけ教育」の取り組みを継続してまいります。

中学3年生を対象とした金武町未来塾ラストスパートコースにつきましては、受け入れ人数を拡大し、より多くの生徒に学びの機会を提供し、志望校へ進学することができるよう支援してまいります。



▲未来塾の様子

高校生・大学生の通学につきましてはは、保護者の経済的負担の軽減を図るため、支援のあり方を検討してまいります。

給食センターにつきましては、食育と労働環境の改善を図るため、新たな施設の整備に向けて取り組んでまいります。

国際交流につきましては、「金武町移民の日」記念事業、海外移住者子弟等研修生受入事業、青年海外派遣事業、ハワイ短期留学派遣事業等を通して、移住国との架け橋となる国際感覚豊かな人材の育成と各町人会との交流を推進してまいります。

健康づくりにつきましては全国健康保険協会沖縄支部が推進する、「うちなー健康経営宣言」に、県内自治体として初めて金武町役場が参画したことを契機に、金武町商工会と連携しながら、これまで進めてきた国民健康保険を中心とした町民の早世予防や介護予防に加え、各種保険制度と連携した町全体の健康づくりを推進してまいります。

障がい者福祉につきましては、障がいのある方が安心して気軽に集える居場所づくりの充実に取り組んでまいります。

高齢者福祉につきましては

は、生活支援コーディネーターを中心に、地域住民による支え合いネットワークを整備し、地域で高齢者を支える仕組みづくりを推進してまいります。

(2)教育・人材育成について

公立・私立を問わず町内のどの保育園、幼稚園、こども園に入園しても小学校入学までに一定の幼児教育水準となることを目指して、0歳から15歳までの発達と学びを支援する「学びの基礎力育成支援事業」を推進してまいります。また、自己肯定感を高め、他者と協働できる児童・生徒を育成するため、「勇気



▲ハワイ沖縄連合会の皆様と

交流事業につきましては、ハワイ州ホノルル市との友好都市協定、岡山県矢掛町とのフレンドタウンシップ協定を締結しております。今後も引き続き交流を大切にしながら、新たな交流についても検討し、交流を通じた地域活性化と人材育成に繋がってまいります。

また、令和9年度に開催予定の沖縄県主催の第8回世界ウチナーンチュ大会に併せて、第8回金武町シマヌチュ大会を開催し、海外の移住地から来町されるシマヌチュとの交流を図ってまいります。

移民・民俗資料館につきましては、役場機能移転後の庁舎跡利用を推進し、町民の郷土に対する認識を高め、文化の向上に資することを目的に、早期の整備に努めてまいります。また、町内各地に残る文化財の屋外展示と併せた一体的な施設整備を目指してまいります。

(3) 商工業・観光業の
振興について

商工業の振興につきましたは、プレミアム付き地域商品券事業や空き店舗対策事業等を積極的に支援し、地域内経済の活性化を図ってまいります。雇用対策につきましては、金武町就活支援センターの活動を継続するとともに、新規の講座やセミナーなどを開催してまいります。

観光業の推進につきましたは、関係機関と連携し入域観光客数の増加に向けて取り組んでまいります。また、本年発足した沖縄やんばるDMOと連携し、滞在型観光の確立に向けた施策を推進してまいります。

遊休農地対策につきましたは、高齢化や人口減少による耕作放棄地を防ぐため、地域の農家や関係機関と座談会等を実施し、農地の集約化を目指すことで、遊休農地解消に向けて取り組んでまいります。

農家所得の向上につきましたは、農林水産物の生産振興や加工品の販路拡大を図るため、定期的に即売会等を開催し、生産者の意欲向上と所得向上を目指すとともに、安定的な出荷体制の構築に向けた連携強化を図り、農林水産物の集積・販売拠点施設として、(仮称)金武町観光交流物産センターの設置に向けた取り組みを推進してまいります。

ます。



▲ギンバル訓練場跡地開発

スポーツコンベンションの取り組みにつきましたは、プロスポーツキャンプの受入事業を実施し、県内外からの集客による交流人口の拡大や地域活性化を図ってまいります。

企業誘致につきましたは、経済の活性化や雇用機会の創出が、地域の持続的な発展

営農活動への支援につきましたは、農家の作業負担や経済的コスト軽減を図るため、町に適したスマート農業の推進、農業機械等の貸出などを行うことで作業環境や農業経営の効率化を図られるよう検討してまいります。

(5) 金武町複合庁舎
整備事業について

金武町複合庁舎整備事業につきましたは、町民の利便性、防災・交流・福祉機能等の向上を図るため、業務が分散している行政機能を集約することと、町総合保健福祉センターで行っている健康づくりや福祉機能等を統合する計画となっております、「駐車場

に繋がることから、あらゆる可能性を模索し柔軟に対応してまいります。

ふるさと納税の取り組みにつきましたは、新たな返礼品の開発や戦略的な情報発信を行い、自主財源の確保と金武町の魅力発信に繋がるよう取組体制を強化してまいります。

(4) 農林水産業の
振興について

農業の振興につきましたは、生産者の経営安定維持や新規就農者、担い手の育成、確保を図るため、各種補助支援制度の充実を図り、引き続き支援してまいります。

が利用しやすくスペースが十分に確保された庁舎」、「手続きや相談をワンストップで行うことができる庁舎」、「年齢や障がいの有無に関わらず誰もが訪れやすい庁舎」、「災害に強く防災拠点として機能する庁舎」の整備に向けて取り組んでまいります。



▲金武町複合庁舎



▲金武町の特産品 田芋 ▲金武町の特産品 マンゴー

畜産業の振興につきましたは、関係機関と連携した飼育技術の向上、草地の確保等畜産業の所得向上と生産拡大を図ってまいります。

水産業の振興につきましたは、漁獲量と漁獲高の向上を図るため、金武漁業協同組合と連携し、生産力の向上や流通体制の構築に取り組んでまいります。

(6) 生活環境・防災対策・
インフラ整備について

防災対策の充実につきましたは、災害発生時に町民の生命や財産を守るため、避難情報や緊急情報を伝える無線システム及び屋外スピーカーの改修を実施してまいります。

地区公民館・体育施設等につきましたは、社会や地域のニーズの変化に応じた中長期的改修計画を策定し、町民の生涯学習・スポーツ・文化活動をはじめ、コミュニティ機能及び防災機能の拠点として、引き続き機能高度化を進めてまいります。

町内の道路、河川、橋梁、

公園施設につきましては、安全安心に利用できるよう、適切な維持管理に努めてまいります。

上水道の整備につきましては、安定的な供給を確保するため実施している、企業局水の送水管布設工事について継続して取り組んでまいります。併せて、老朽化した水道施設の更新等に努めてまいります。

金武火葬場につきましては、安置室や休憩室等を整備し、利用者が安心して利用できる施設づくりを推進してまいります。

金武公会堂建替えにつき

える住民サービスの向上へとつなげてまいります。

財政運営につきましては、人件費、社会保障関係経費の増加、公共施設の整備、物価高騰への対応などが続くものと認識しており、これまで以上に計画的かつ効率的な財政運営が求められております。そのような中においても住民福祉の向上と地域経済の活性化を図るため限られた財源を効率的に活用して、町政発展につながる財政運営に努めてまいります。

(8) 基地問題について

基地から派生する諸問題

ましては、金武区のニーズを踏まえながら町民の生涯学習・文化活動をはじめ、コミュニティ機能及び防災機能の拠点として、早期の整備に努めてまいります。

地球温暖化対策につきましては、2050年に二酸化炭素実質排出ゼロの実現を目指し、エコドライブの推進や中小企業の脱炭素経営に関する提案、公共施設への太陽光発電設備導入に向けた効果検証を行うほか、省エネルギーの推進や環境負荷の低減につながる各種施策に取り組み、持続可能な地域社会の形成を図ってまいります。

の解決につきましては、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会やキャンプ・ハンセンに関する三町村連絡協議会等の関連組織、防衛省・外務省等の関係機関と緊密に連携するとともに、キャンプ・ハンセンに新たに配属される隊員向けに町長講話を実施するなど、米軍人・軍属による事件・事故、演習に伴う山林火災、騒音被害等の未然防止に努め、良き隣人として相互理解と信頼関係を築きながら、取り組んでまいります。

令和8年度の主要施策

令和8年度の町政運営につきましては、令和8年第2

(7) 行政運営の 確立について

D Xの推進につきましては、マイナンバーカードの活用、多言語対応の充実、オンライン申請の拡充等に取り組み、「書かない・待たない」行かない」窓口の構築を目指し、町民サービスの向上を図ってまいります。

広聴活動の充実につきましては、今後も各区及び関係機関との行政懇談会を実施し、積極的な意見交換を継続することで、町民の声を町政に反映してまいります。

回金武町議会3月定例会で可決された、令和8年度一般会計予算11億5,173万1千円及び各特別会計予算、企業会計予算、さらに本定例議会に議案として提出しております、補正予算を基本とし、各種施策に取り組んでまいります。

高齢者や障がい者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、在宅における見守り、家事援助、買い物や通院等の外出支援など自助、共助、公助の連携による地域における支える仕組みづくりを支援してまいります。

各地区公民館の機能高度



▲行政懇談会

職員の職場環境改善につきましては、ライフステージの多様化に対応し、若手からベテランまで誰もが安心して働き続けられるよう、国の推進する制度に準じて取り組んでまいります。併せて、D X推進等により業務の質的向上を図り、これらを通じて組織のパフォーマンスを最大化し、多様化するニーズに的確に対応

化につきましては、並里地区公民館バリアフリー改修工事を実施し、町民の生涯学習・スポーツ・文化活動、コミュニティ機能の向上を図ってまいります。

町営住宅屋嘉団地の整備につきましては、ユニバーサルデザインとするなど、子育て世帯や高齢者世帯に配慮した建替事業を進めてまいります。

金武アクティブパーク機能強化事業につきましては、気象の影響を受けにくい環境を整えるために、常設ステージ及び屋根を設置し、新開地区の更なる集客機会の創出に取り組んでまいります。



▲アクティブパークイメージ図

し尿処理の適正化推進につつましては、金武町、うるま市、嘉手納町、読谷村、恩納村の5市町村共同による新たな施設の整備に向けて取り組んでまいります。

企業誘致につつましては、ギンバル地区においてサウンディング調査を実施し、参入

する民間事業者との対話やニーズを的確に把握することにより、同地区の可能性を活かした実現性の高い誘致が展開できるよう取り組んでまいります。

学校施設の整備につつましては、金武中学校及び嘉芸小学校の普通教室棟の建設工事が完了します。今後も学校教育環境の整備に取り組んでまいります。

むすび

以上、町政運営の基本方針及び令和8年度の主要施策の概要について説明致しました。

私は、町民の皆様との対話を大切にし、地域の声や現場の実情に真摯に耳を傾けてまいります。

また、複雑・多様化する行政課題に的確に対応するため、職員一人ひとりが力を発揮できる組織づくりを進めるとともに、町民と行政が協働し、ともに支えあうまちづくりを推進してまいります。

「つながる輪 夢を支える 金武のまち」という将来像のもと、誰もが安心して暮らし、地域に愛着と誇りを持てる、「笑顔あふれる町づくり」を目指し、責任と行動力をもって、町政の舵取り役としての使命を果たしてまいります。

終わりに、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。私の所信表明と致します。

令和8年6月5日

金武町長 金城 司

